

## 中央大学国際経営学部 見学調査報告書

調査テーマ	日本随一のデジタルアニメーション企業のグローバルな事業展開と経営理念
調査日	2019年11月7日(木)15:30~17:00
調査先	株式会社ポリゴン・ピクチュアズ 代表取締役 塩田 周三 氏
担当教員身分・氏名	准教授・国松麻季
授業科目/学部企画名	訪問調査(「企業訪問」)
参加学生数(学年)	1年生9名
調査趣旨・目的	グローバルビジネスを牽引するデジタルアニメーションスタジオの社長から事業概要や理念、グローバル市場の捉え方等を聞き質疑応答を行う。また、同社内の施設等を見学する。
調査結果	<p>塩田社長より、会社の沿革と事業概要、理念、経営方針、米国を含むグローバル市場での展開、ライセンス事業、マレーシア等における子会社の経営、最近の課題や取り組みについて、さまざまなアニメーション動画や写真等を用いたプレゼンテーションをご準備いただき、学生に対するメッセージとともに聞いた。さらに、コンテンツ産業を代表して政府の審議会等に参加する取り組みについてもお話しいただいた。中国企業との提携、自動車業界とのコラボレーションなど、最新の動きや、男性社員を含む高い育児休暇取得率などの労務面などが学生の興味をひいた。</p> <p>学生から、グローバル人材の育成、塩田社長のキャリアにおける決断、精力的な活動を続けるモチベーション等、多岐にわたる質問があり、丁寧にユーモアを交えお答えいただいた。グローバルビジネスの前線に立ち、国際的なイベントでも数々のスピーカーを務められてきた、英語での巧みなプレゼンテーションは、学生たちの刺激となった。学生の一人は、今日の成功は、「最大のクオリティーとはどうあるのかを常に環境の変化に応じて問い続けた結果なのだとわかった」と感銘を受けた。</p> <p>お話の後、塩田社長の案内で整然としつつもスタイリッシュな制作や管理の現場をご案内いただき、業務にあたる社員の方々の姿を近くに見ることができ、学生が実感を持って就職について考え始める好機となった。</p>

プレゼンテーションを操作しながらお話しされる塩田社長(左)と画面に見入る学生たち



質疑応答の様子



学生代表からのお礼



感謝をお伝えしながら手土産をお渡しました



同社のロビーで集合写真

